

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

# マイグレーション移行性検証サービス

失敗事例の多い「マイグレーション・プロジェクト」を成功に導くシステムズの豊富なノウハウ

## レガシーシステム刷新・再構築成功の鍵「移行性検証」とは・・・

レガシーシステムの狙いどおりのマイグレーションを成功させるには、刷新対象の既存資産を「**移行性検証**」することにより既存システムの保有情報と問題点を洗い出し、「計画」・「ツール」・「作業手順」・「生産性」を確保することが重要です。



<< お客様からの提供物を受領 >>

- ①対象資産 一式  
(プログラムソース/JCL/その他移行対象資産)
- ②システム標準資料 一式  
(運用標準/コーディング標準/ネーミング標準 等)
- ③ドキュメント類 一式  
(業務フロー/運用フロー/新システム要件/テスト仕様書 サブルーチン仕様書 等)
- ④ファイルレイアウト
- ⑤現新システム環境関連資料 一式  
(ユーティリティ類を含む)
- ⑥テストデータ  
(サンプルコンバージョン用)

### マイグレーション対象資産の明確化

1. 移行対象資産の確定  
不要・重複資産の排除

### マイグレーションリスク管理

1. システム環境、移行対象資産、プログラムソースの特徴を把握
2. 技術的課題の抽出
3. 不具合発生の予測と対策
4. 移行方針に則したサンプル変換の実施による技術的課題、移行方針を検証
5. 調査・分析に基づき、変換およびテストの手戻りを防止し品質を確保

### マイグレーションプロジェクト計画の策定

1. プログラム・JCLパターンの分析およびコーディング特徴の把握を行い、技術的な確認を得た上でプロジェクト全体の移行実施計画を確定
2. 各工程の作業項目およびお客様との役割分担を明確化しスケジュールを立案
3. 移行内容の検証により、正確・詳細な見積りを算出

## マイグレーション移行性検証のお客様メリット



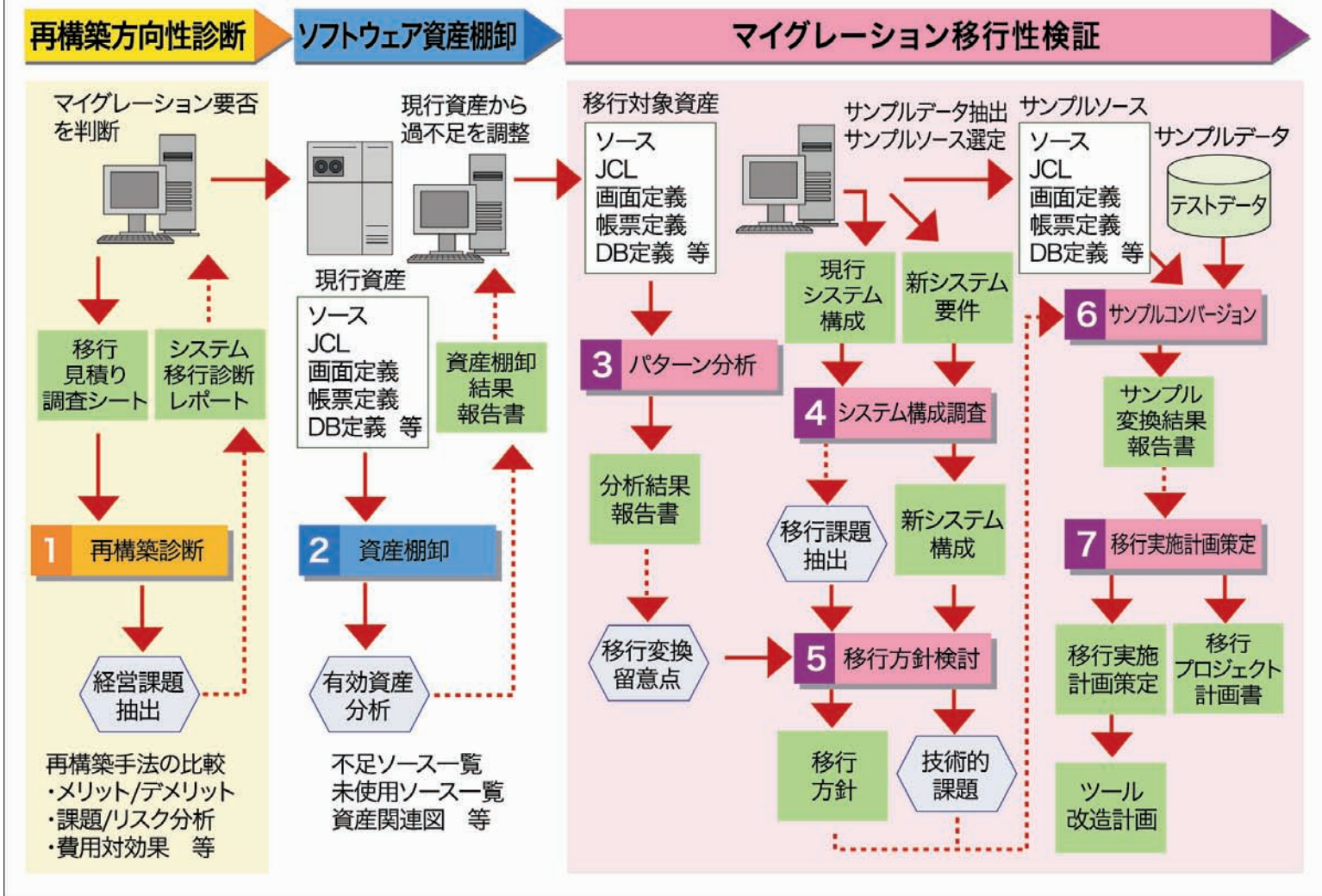
1. 不要/重複資産排除による移行コスト削減とシステム情報の現状把握
2. 移行リスクの事前把握による危機管理の備え
3. 適切な移行方式(低コスト、低リスク、品質確保 等)の選択
4. 正確な移行費用内容の把握

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

# マイグレーション移行性検証サービス

## マイグレーション移行性検証に至る作業の流れ

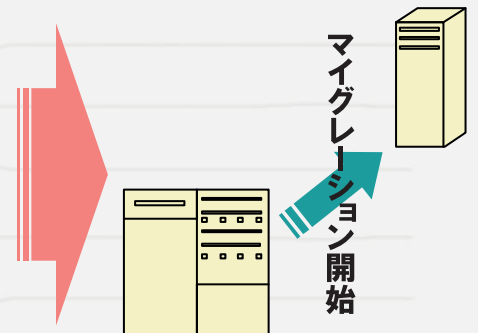
### システムズが注力するマイグレーションの上流工程



### マイグレーション移行性検証による成果物 例



1. 資産棚卸し結果報告書
2. 分析結果報告書
3. サンプル変換結果報告書
4. 移行性検証結果報告書  
[①システム特性②新システム構成③移行方針]
5. 移行実施計画書
6. 移行実施正式見積書



※)実施費用については、別途お問い合わせください。

お問い合わせ先

**株式会社システムズ** マイグレーション事業本部

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-24-5 日本生命西五反田ビル8F

TEL 03-3493-0032 (ダイヤルイン) e-mail: migration@systems-inc.co.jp

FAX 03-3493-2033 Migration Web URL: <http://www.migration.jp/>